

第2回協働のまちづくり学習会参加者アンケート等集計結果

ゲスト事例報告・パネルトークの感想

- ・ 草加市行政と市民会議の熱意が伝わってきた。
- ・ 活動の実体が目に浮かぶようなトークだった。
- ・ 草加市に親類がいるので、興味深く聴くことができた。まちづくりの話を伝えたい。
- ・ 草加市の事例は分かりやすく、大変参考になりました。
- ・ 谷古宇氏の「地域での受け皿を」とのお話は、将来に希望のもてるものだった。
- ・ 瀬崎まちづくり市民会議の高橋さんのお話が、身近に感じられて分かりやすかった。
- ・ 瀬崎まちづくり市民会議の高橋さんのお話が一番良かった。瀬崎の実践例についてもっと聴きたかった。
- ・ 市民と市とのコミュニケーションが素晴らしい。
- ・ 協働、市民参加がスムーズに行政に組み込まれていることに共鳴しました。行政担当部署の考え方の切替えが重要で、市民の声をよく取り入れている。
- ・ 2回とも参加しました。住民と行政が目的を明らかにして実践活動に取り組んでいる様子をうかがい感動しました。

学習会全体の感想

- ・ 大変有意義な学習会だった。
- ・ 研究員の皆さん、ご苦労様です。
- ・ 研究報告は研究員各位のご苦労の成果であり、深く敬意を表します。
- ・ 地域の役員に参加してほしい企画だった。
- ・ 町が主体的な感じがした。
- ・ 司会は上手ですが、丁寧すぎます。
- ・ 筆記できるように机がほしかった。

協働への期待

- ・ 今後、三芳ならではの協働の実践に期待するとともに、参加もしていきたい。
- ・ 草加市の取組を聴いて、今後、町の活動に参加したいと思った。

- ・ 住民も意識をもって、自分たちのまちをつくる参加者であらねばと思った。
- ・ 地方分権の時代に、住民参加のまちづくりは基本と思います。
- ・ 高齢なので協力はできませんが、若い皆さんの活躍を期待します。
- ・ 平成19年度に何か動き出す日を注目したいと思います。
- ・ 地域の歴史・風土や、研究成果のしくみを基に、町としての自立を目指して頑張ってください。

研究会、協働のまちづくりへの意見・提案

- ・ 草加市の事例のように、草の根の活動の中で住民の理解を得ていくよう、時間をかける必要性を感じた。
- ・ 条例案はもっと時間をかけて練り上げた方がよい。（善し悪しではなく、理解を得ながら）
- ・ じっくりと理解してもらうことが大事。広報活動が重要ですね。
- ・ 研究報告はよく理解できない。衆人環視の下、モデル事業等を推進したらどうか。
- ・ 瀬崎まちづくり市民会議のように、具体的な動きを示してみてもは。
- ・ 小さくてもいいから、何でも目に見える結果を出してください。それが多くの人への参加につながると思います。
- ・ 住民がまちづくりを打ち出せるように！（決して行政主導で打ち出さず）
- ・ 人材育成や活動拠点の支援は、すぐにでも必要なことと考えます。
- ・ 声の大きな人たちの意見ばかり拾い上げるのではなく、例えば若い子育て中の母親との協働にも意を配り、真に町民全体が望むまちづくりに向かわねばならないと思った。
- ・ 先般、「地球温暖化防止対策町民会議」を提案しました。暮らしの中での温暖化防止対策は、面倒がらず少しずつ進めていけば可能なことです。しかし、生活習慣を変えることにもなりますので簡単なことではありませんが、ぜひ、協働のテーマに加えてほしいと思います。
- ・ 従来からある自治会の活用、活性化が大事。
- ・ 全町14地区で協働の説明会を開催しては？（区長会への説明も含め）
- ・ 研究会には、昔からの住民にも多く入ってもらえたら良い。
- ・ 参加者の年齢の高さが気になる。いかに若い人の参加をよぶかが課題だと思う。

まちづくり全般への提言

- ・ ごみ問題への取組みも大切だが、市民生活における温暖化防止も大切。

<ul style="list-style-type: none"> 三芳町の特長は緑の多さだと思うが、雑木林が集荷場が変わるなど、歯抜けになっていく様を見ていると残念でならない。行政はどう考えているのかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> どの世代にとっても大切な町の宝は「みどり」です。環境保全と緑化推進は、目先の経済発展よりも重要な課題です。公園づくりも遊具や施設整備でなく、みどりと一体となったものであってほしいと望みます。
<ul style="list-style-type: none"> 民間の雑木林の施業を通じて自然公園化が図れないか。
<ul style="list-style-type: none"> 「三芳町中央公園」をつくりたい。
<ul style="list-style-type: none"> 車道優先、歩道軽視の道路が非常に多い。ウォーキングで気持ちよく長時間歩けるような、安全と景観に配慮したまちづくりを望む。
<ul style="list-style-type: none"> 主要街路から電柱をなくし（地中へ）、街路樹がもう少し枝葉を伸ばせるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 住居表示（番地など）の整備を望みます。特に藤久保地域。
<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標の中で、地場産業の活性化・育成という表現が弱い。例えば、三芳町のさつまいもは現在「川越いも」と呼ばれているが、「三芳いも」があってもいいと思うが、いかがか。

ゲストへの質問事項
<p>（草加市みんなでまちづくり課）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みんなでまちづくり課」の新設にあたっては、スクラップ・アンド・ビルドの観点で統合された課もあったのでしょうか。 パートナーシップのまちづくりを進める中で、苦労したこと、困ったことはありますか。 パートナーシップをまちづくりの基礎とする反面で、市民が直接行政（担当部署）にコンタクトする近道を途絶えさせるという弊害はありませんか。 担当職員の熱意や質、取組方の違いによって、パートナーシップのまちづくりに温度差が生じないでしょうか。 パートナーシップのまちづくりに係る予算は、市予算全体でどのくらいの割合を占めますか。 パートナーシップのまちづくりの中で、議会はどのような機能を果たしているのですか？ 「みんなでまちづくり会議」で、登録員から寄せられた提案内容を教えてください。 市民提案事業についても費用効率などの効果を検証する必要があると思いますが、協働事業に対する評価は行っていますか。実施しているとすれば、どのような手法によりますか。 地区まちづくり事業では、地区によって取組みの状況や熱意に温度差はありませんか。
<p>（瀬崎まちづくり市民会議）</p> <ul style="list-style-type: none"> 設立時に一番苦労したことは何ですか。 組織のメンバーは、どのように集めたのでしょうか。

- 上下の関係でなく、水平思考でまちづくりが進んだ背景には、瀬崎地区というところには何か特別な基礎があったのでしょうか。
- 先のクールへ持続可能とするための組織の維持の仕方やしきづくりについて、お考えをお聞かせください。
- パートナーシップのまちづくりを進める上で、住民としての心構えを教えてください。
- 施設管理事業費以外の予算260万円の用途は。事業費の内訳を教えてください。
- 「せざきYOYO倶楽部」の詳しい活動内容と連絡先を知りたいです。
- 「せざきマンションネット」の取組みを詳しく知りたいです。自治会会員は減少の一途で、強制できないものだけに、どのようなきっかけで、どのような活動をされているか、とても興味深いものがあります。
- 「みんなのまち草の根ネットの会」と「瀬崎まちづくり市民会議」の連携や関わりについて教えてください。
- 「みんなのまち草の根ネットの会」の「男女共生」から「調査・研究」までの6つのパーソナルネットは、設立後に一つずつ積み上げられたのでしょうか。それとも、当初から6つの分野を併せて立ち上げられたのでしょうか。